

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)地域密着型特別養護老人ホ	階数	地上3F
建設地	大阪府豊中市二葉町2丁目30番1、7	構造	木造
用途地域	準工業地域、下水処理区域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年11月17日
敷地面積	2,908㎡	作成者	南原 鋭治
建築面積	794㎡	確認日	2017年11月20日
延床面積	2,111㎡	確認者	山本 隆之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 75% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 75% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 75% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.4
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	2.9
耐用性	3.2
対応性	2.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.9
地域環境	2.2
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	0	
Q1 室内環境 使用する建材は主にF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 入居者が満足できるよう、十分な個室スペースを確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化を積極的に行っている。
LR1 エネルギー 断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。	LR2 資源・マテリアル GWPの低い断熱材の採用により、フロン・ハロンの使用を回避している。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0109

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)地域密着型特別養護老人ホーム淳風とよなか 増築工事					
		建設地	大阪府豊中市二葉町2丁目30番1、795番、801番7、801番8					
		用途/区分	病院					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
					住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								